

<b>委員会議事概要</b>	
1. 委員会名	令和5年度 第2回沖縄県内水面漁場管理委員会
2. 開催日時	令和5年6月30日(金) 14:00~14:42
3. 開催場所	県庁9階第4会議室
4. 出席委員 (定数8名中7名)	(会場参加) 古谷千佳子委員、金城政達委員、宮良 工委員 (Web参加) 立原一憲委員、山川彩子委員、伊波 實委員 (欠席) 仲村 直委員、津波古優子委員
5. 議事録署名人	伊波 實委員、宮良 工委員
6. 議事内容	
(1) 第1号議案	リュウキュウアユの採捕承認申請について
【要旨】	新規の採捕承認申請1件と、承認期間の延長1件について審議され、2件とも承認された。 なお、新規に申請のあった1件については、7 制限または条件に、「採捕したアユが死亡した場合は、標本として保管するか、適切に廃棄すること。」という一文を付け加えることとなった。
【特記事項】	特になし。
(2) 第2号議案	沖縄県内水面漁場管理委員会運営等規程の一部改正について
【要旨】	沖縄県内水面漁場管理委員会運営規程の一部に、障害者差別に該当する可能性のある条項があることから、当該部分を削除する事務局案について異議無く承認された。
【特記事項】	特になし。
(1) 報告事項	沖縄県における今後のリュウキュウアユの保全に関する関係者との調整について
【要旨】	沖縄本島北部におけるリュウキュウアユの保全方策について、6月8日に、環境省沖縄奄美自然環境事務所、県自然保護課および水産課の3者で協議した内容を報告した。 協議では、絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(いわゆる種の保存法)により、都道府県を問わずリュウキュウアユを保全対象とするのは困難であり、県条例による保全を検討する方向で検討していくこととなった。

	<p>協議内容について、立原会長からは、沖縄県版レッドデータブックにおいてリュウキュウアユは絶滅種にカテゴライズされていることから、固有種として扱うことはできず、トキやクニマスにおける域外保全を参考に整理する方法について提案があった。</p>
<b>【特記事項】</b>	特になし。